

# 入間野小学校だより 12月号 令和4年12月1日(木)

狭山市北入曽 980 TEL 04-2958-2718



～みんなが大切にされる学校～

校長 丸山 丁士

「**いるまの**」 「**仲よくする子 考える子 やりぬく子**」の育成

## ～ 学ぶことをやめたら… ～

雪虫<sup>※1</sup>が飛び交う季節となったものの、東京地方は昨年に引き続き木枯らし1号<sup>※2</sup>が吹かないまま12月に入りました。「一年の最後になし終える」という意味の「為果つ(しはつ)」を語源とする説もある師走。一年間の(“反省”ではなく)“リフレクション”<sup>※3</sup>をしっかりと行うことによって、児童にとっての新年が、ウサギのごとく跳躍する年になればと本校教職員一同心より願っております。一年間ありがとうございました。



※1「雪虫」…冬の季語。北海道では雪虫が飛ぶと一、二週間後には雪が降ると言われています。←先日の朝、見守りの方々に教えていただき、「風流だな…」と心にしみました。

※2「木枯らし1号」…気象庁の目安の一つとして、その期間について「(10月半ば～)11月末まで」とあります。

※3「リフレクション」…(昨年の8月号にも書きましたが)失敗や誤りに焦点を当てる“反省”とは違い、良い面も悪い面も見つめなおし、新たな気づきを得ることによって未来をより良くすることが目的。「人生100年時代の社会人基礎力」の一つとされています。

カタールで開催中のサッカーワールドカップ。今回は「冬季開催」「中東での開催」「女性審判員参加(うち1名は日本人)」「開催国の開幕戦黒星」「バトル・オブ・ブリテン(イギリスという同じ(王)国の中のイングランド対ウェールズの対決)」などなど…“史上初”の冠がいくつもつく異例づくしの大会となりました。

そんな中、先月24日には日本代表が過去4回の優勝を誇るドイツに逆転勝利！日本中が大喜びし世界中が驚愕したこの試合の後、駐日ドイツ大使館は公式ツイッターに次のようなコメントを投稿しています。「日本代表の皆様、おめでとうございます！！フェアで熱い試合をありがとうございました」

これに対し日本サポーターは「クラマーさんやブンデスのおかげです」と返しています(ブンデス(リーグ):日本でいうJリーグ)。このクラマーさんとは、「日本サッカーの父」と称されるドイツ人サッカー指導者のことで、「サッカーは少年を大人にし、大人を紳士にする」という言葉を残しています。(当時、サッカーは男性のスポーツと言っても過言ではない時代でした)

同じサッカー指導者でフランス人のロジェ・ルメール氏は、こう言っています。

「学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない」

実は、先月22日に本校で開催された『埼玉県体力課題解決研究』発表会は、PTA本部役員・各委員さんたちにもご支援いただき、多くの指導者や参会者からお褒めの言葉をいただくなど成功裏に終えることができましたが、2年間に及ぶ研究の本校教職員が掲げる理念として、児童がスポーツや授業を「楽しむ」ことの追求・探求とともに、このルメール氏の言葉がありました。

そして、この言葉を我々教師(指導者)は、子ども達のためにこれからも胸に刻み続けます。

ところで、来年の干支であるウサギは、古(いにしえ)より月からの使者と考えられ、月には不老不死の薬があるとされてきました。このことから卯年は「長寿の年」という言い伝えがあります。

皆様にとって、そして世界にとって“来る年・卯年”が、安寧で幸福な一年間となりますように…。

